

地域経済動向レポート

調査時期	平成31年4月		対象期間	平成31年1～3月		
対象事業所	小規模事業者	商工振興モニター98件 回答98件 (前回100件) 市内金融機関取引先20件 回答15件 (前回18件) 継続調査先78件 回答35件 (前回41件)	業種	小規模回答件数	中企業回答件数	
			建設業	29	1	
			製造業	30	17	
	中企業	役員・議員・委員会・部会・ブロック会から 83件 回答28件 (前回34件)	卸売業	12	2	
			小売業	21	4	
			サービス業	35	3	
		その他	21	1		
		全調査対象279件/回答176件 (63.0%)	全産業合計	148	28	
付帯調査	人材不足・雇用対策の現状と課題について					

※ D I = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

①市内小規模の売上D Iは(前回13.9→今回8.1) 前回に比べ低下、先行きも若干悪化の見通し。
市内中企業の売上D Iは(前回△2.9→今回△10.7) 低下し、第2四半期のプラスから徐々にマイナス傾向。

中小機構実施の全国小規模の業況判断D Iは(前回△15.5→今回△16.2)、東海財務局実施の東海地区(愛知、岐阜、三重、静岡)中小企業の業況判断も(前回△3.1→今回△10.5)とマイナス基調が続いている。先行きも若干の好転はあるが、マイナスで横ばいの見通し。

市内小規模業種別では、引き続き建設業が好調。製造は2年ぶりに悪化に転じたが、先行きはプラスに復調見通しで一時的。小売りはマイナス基調続くも、消費増税前の需要か、先行きは好転の見通し。

地域経済動向レポート

②市内小規模の採算DIは、低下傾向（前回8.2→今回6.1）。

業種別では、建設が引き続き上昇。製造は売上とともに採算も悪化しマイナスに転じた。卸・サービスは好転し先行きもプラス傾向の見通し。

市内中企業では、製造業のマイナス反転の悪化が大きい。

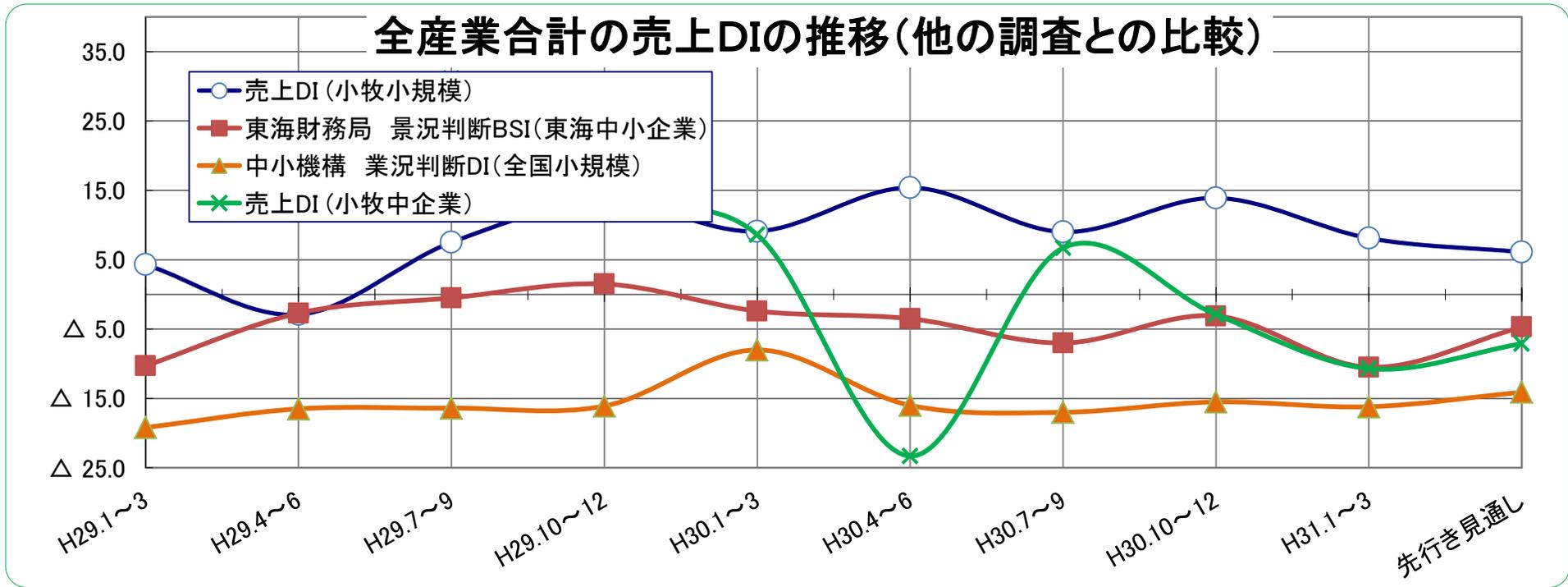
③市内小規模の資金操りDIは上昇傾向（前回6.3→今回8.1）。

全業種堅調、業種別では建設業が改善傾向が見られ、特に卸売がプラスに大幅改善。先行きは、製造業のみ悪化の見通し。

市内中企業では製造が引き続き悪化の傾向。

④市内小規模の従業員DIは、0.5ポイント上昇（前回△12.7→今回△12.2）。

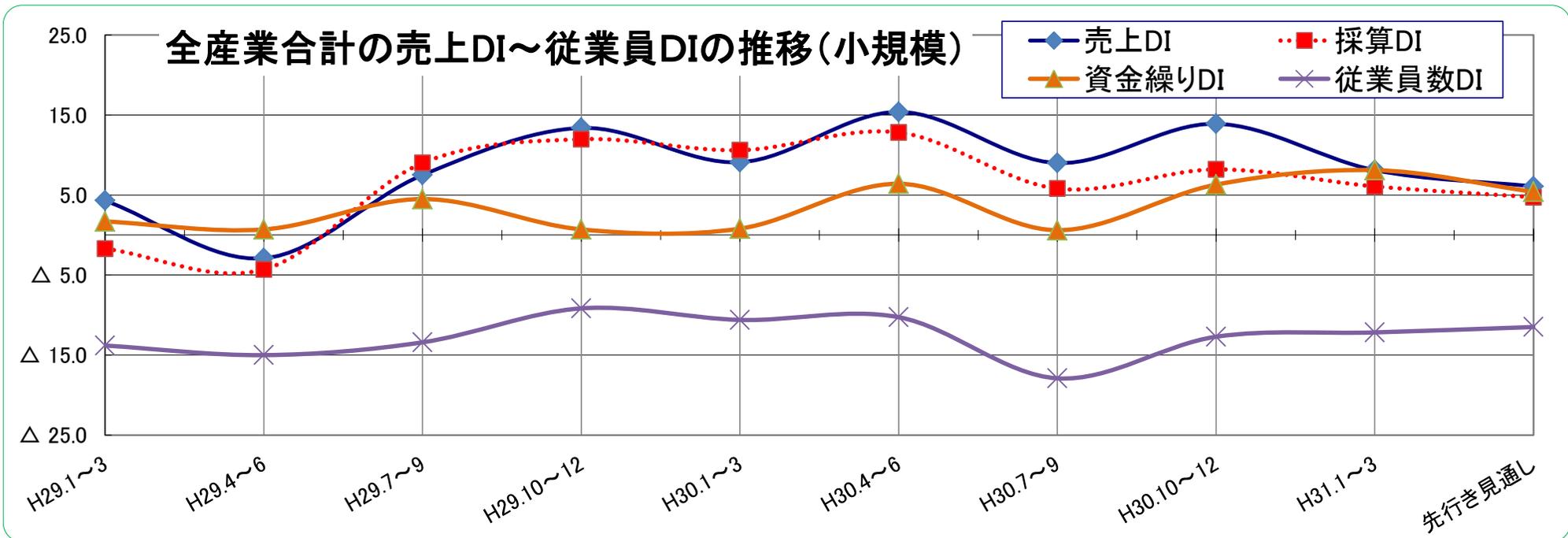
若干のポイント上昇だが、依然全産業不足感が根強い。先行き状況も厳しい見通し。



●全産業合計の売上DI推移

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H30.1	H31.04	
調査期間	H29.1~3	H29.4~6	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	4.3	△ 2.9	7.5	13.4	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	6.1
売上DI (小牧中企業)		14.3	31.1	14.3	8.6	△ 23.3	6.7	△ 2.9	△ 10.7	△ 7.1
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△ 19.2	△ 16.5	△ 16.4	△ 16.1	△ 8.0	△ 16.0	△ 17.0	△ 15.5	△ 16.2	△ 14.1
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	△ 10.3	△ 2.7	△ 0.5	1.5	△ 2.4	△ 3.5	△ 7.0	△ 3.1	△ 10.5	△ 4.7

* 東海財務局 法人企業景気予測調査の「中小企業」の定義：資本金1千万以上1億円未満の企業



●全DIの推移

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.1	H31.04 (小規模)		H31.04 (中企業)	
調査期間	H29.1~3	H29.4~6	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	先行き見通し	H31.1~3	先行き見通し
売上DI	4.3	△ 2.9	7.5	13.4	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	6.1	△ 10.7	△ 7.1
採算DI	△ 1.7	△ 4.3	9.0	12.0	10.6	12.8	5.8	8.2	6.1	4.7	△ 10.7	3.6
資金繰りDI	1.7	0.7	4.5	0.7	0.8	6.4	0.6	6.3	8.1	5.4	3.6	7.1
従業員数DI	△ 13.8	△ 15.0	△ 13.4	△ 9.2	△ 10.6	△ 10.3	△ 17.9	△ 12.7	△ 12.2	△ 11.5	△ 35.7	△ 35.7

地域経済動向レポート

●売上DIの推移（小規模）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	4.3	△ 2.9	7.5	13.4	9.1	15.4	9.0	13.9	8.1	6.1
建設業	0.0	14.3	△ 15.8	△ 9.1	△ 16.7	16.7	16.1	24.1	48.3	0.0
製造業	18.5	12.1	2.9	28.2	21.2	32.4	6.3	15.2	△ 6.7	3.3
卸売業	20.0	△ 33.3	0.0	14.3	57.1	△ 6.7	6.7	△ 13.3	△ 16.7	0.0
小売業	△ 21.7	△ 14.8	0.0	12.5	△ 9.5	△ 20.0	△ 40.9	△ 18.2	△ 9.5	9.5
サービス業	8.3	△ 7.4	36.0	21.4	28.6	24.3	31.4	31.6	11.4	17.1
その他	16.7	△ 8.7	13.0	0.0	△ 8.3	20.0	19.0	19.0	0.0	0.0

売上DIは、建設業が大幅に上昇。製造業は前年、前々年より続いたプラス基調から初めて悪化に転じたが、先行きは復調プラス見通しで一時的。小売はマイナス傾向が続くが、先行きは好転の見通し。

●売上DIの推移（中企業）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	－	14.3	31.1	14.3	8.6	△ 23.3	6.7	△ 2.9	△ 10.7	△ 7.1
建設業	－	0.0	33.3	25.0	－	△ 100.0	0.0	50.0	100.0	0.0
製造業	－	26.1	39.1	15.0	0.0	△ 16.7	15.8	5.3	△ 35.3	0.0
卸売業	－	16.7	50.0	57.1	20.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 100.0
小売業	－	△ 28.6	33.3	0.0	75.0	△ 33.3	25.0	20.0	0.0	△ 25.0
サービス業	－	25.0	33.3	△ 50.0	△ 20.0	△ 40.0	0.0	△ 66.7	66.7	33.3
その他	－	14.3	△ 16.7	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

地域経済動向レポート

●採算DIの推移（小規模）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	1.7	△ 4.3	9.0	12.0	10.6	12.8	5.8	8.2	6.1	4.7
建設業	8.0	28.6	10.5	9.1	△ 5.6	13.3	9.7	13.8	27.6	6.9
製造業	7.4	9.1	8.6	17.9	15.2	29.4	9.4	6.1	△ 10.0	△ 3.3
卸売業	△ 20.0	△ 55.6	△ 12.5	0.0	42.9	6.7	0.0	△ 13.3	8.3	8.3
小売業	△ 17.4	△ 14.8	4.2	12.5	0.0	△ 15.0	△ 27.3	△ 9.1	4.8	0.0
サービス業	△ 4.2	△ 14.8	24.0	17.9	32.1	21.6	22.9	18.4	5.7	11.4
その他	0.0	△ 8.7	4.3	0.0	△ 8.3	0.0	4.8	19.0	0.0	4.8

採算DIは、建設が引き続き上昇。製造は売上とともに採算も悪化、マイナスに転じた。卸・サービスは好転し先行きもプラス傾向の見通し。

●採算DIの推移（中企業）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	－	14.3	15.6	16.7	△ 11.4	△ 36.7	△ 10.0	2.9	△ 10.7	3.6
建設業	－	50.0	0.0	25.0	－	△ 100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
製造業	－	26.1	17.4	25.0	△ 37.5	△ 27.8	△ 10.5	5.3	△ 41.2	0.0
卸売業	－	33.3	25.0	28.6	40.0	0.0	△ 50.0	△ 33.3	50.0	△ 50.0
小売業	－	△ 14.3	16.7	0.0	25.0	△ 66.7	△ 25.0	0.0	25.0	0.0
サービス業	－	△ 50.0	33.3	0.0	△ 20.0	△ 60.0	33.3	0.0	33.3	33.3
その他	－	14.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

地域経済動向レポート

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	1.7	0.7	4.5	0.7	0.8	6.4	0.6	6.3	8.1	5.4
建設業	12.0	23.8	21.1	0.0	5.6	6.7	△ 3.2	0.0	20.7	13.8
製造業	△ 3.7	3.0	11.4	5.1	3.0	8.8	3.1	15.2	10.0	△ 6.7
卸売業	0.0	△ 22.2	△ 12.5	0.0	0.0	6.7	△ 13.3	△ 6.7	16.7	16.7
小売業	△ 4.3	△ 11.1	△ 8.3	△ 12.5	0.0	△ 15.0	△ 9.1	0.0	0.0	9.5
サービス業	4.2	0.0	4.0	3.6	7.1	13.5	14.3	7.9	0.0	5.7
その他	0.0	0.0	0.0	4.5	△ 12.5	10.0	0.0	14.3	4.8	0.0

資金繰りDIでは、卸売業がプラスに転じ建設業が上昇し小売が回復傾向。先行き見通しは横ばい製造が低下。

●資金繰りDIの推移（中企業）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	－	20.4	17.8	7.1	△ 5.7	△ 13.3	△ 3.3	△ 2.9	3.6	7.1
建設業	－	50.0	33.3	25.0	－	△ 100.0	100.0	50.0	100.0	100.0
製造業	－	26.1	13.0	10.0	△ 6.3	△ 11.1	△ 10.5	△ 5.3	△ 23.5	0.0
卸売業	－	50.0	25.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
小売業	－	△ 14.3	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
サービス業	－	△ 25.0	33.3	△ 50.0	△ 20.0	△ 20.0	0.0	△ 33.3	66.7	33.3
その他	－	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

地域経済動向レポート

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値で表示

●従業員DIの推移（小規模）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	△ 13.8	△ 15.0	△ 13.4	△ 9.2	△ 10.6	△ 10.3	△ 17.9	△ 12.7	△ 12.2	△ 11.5
建設業	△ 24.0	△ 33.3	△ 31.6	△ 13.6	△ 11.1	△ 23.3	△ 19.4	△ 20.7	△ 24.1	△ 20.7
製造業	△ 22.2	△ 12.1	△ 8.6	△ 15.4	△ 18.2	△ 2.9	△ 12.5	△ 3.0	△ 3.3	△ 3.3
卸売業	20.0	△ 33.3	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	△ 26.7	△ 13.3	△ 8.3	△ 8.3
小売業	0.0	△ 7.4	△ 8.3	0.0	0.0	△ 10.0	△ 13.6	△ 9.1	△ 14.3	△ 4.8
サービス業	△ 12.5	△ 18.8	△ 20.0	△ 7.1	△ 14.3	△ 5.4	△ 20.0	△ 13.2	△ 5.7	△ 11.4
その他	△ 16.7	0.0	0.0	△ 9.1	△ 8.3	△ 20.0	△ 19.0	△ 19.0	△ 19.0	△ 19.0

従業員DIは、横ばいで引き続き全産業不足感が根強い。先行き状況も厳しい見通し。

●従業員DIの推移（中企業）

調査実施月	H29.04	H29.07	H29.10	H30.01	H30.04	H30.07	H30.10	H31.01	H31.04	
調査期間	H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	先行き見通し
全産業	－	△ 36.7	△ 37.8	△ 50.0	△ 37.1	△ 46.7	△ 30.0	△ 52.9	△ 35.7	△ 35.7
建設業	－	0.0	△ 66.7	△ 25.0	－	△ 100.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0
製造業	－	△ 47.8	△ 34.8	△ 55.0	△ 31.3	△ 44.4	△ 31.6	△ 57.9	△ 41.2	△ 41.2
卸売業	－	△ 33.3	△ 50.0	△ 71.4	△ 20.0	△ 50.0	0.0	0.0	△ 100.0	△ 50.0
小売業	－	△ 28.6	△ 16.7	△ 25.0	△ 25.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 80.0	0.0	△ 25.0
サービス業	－	△ 25.0	△ 66.7	△ 25.0	△ 60.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
その他	－	△ 28.6	△ 33.3	△ 66.7	△ 50.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0

地域経済動向レポート

業況感と業界として当面している問題等に関する声（小規模）

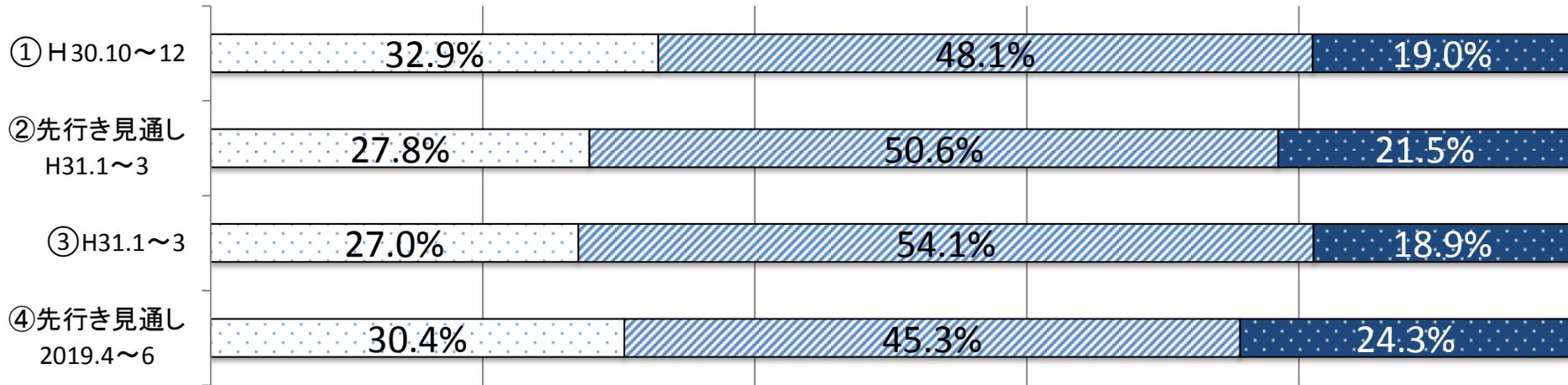
建設	<p>全体的に高齢化・人手不足が広がるなか、特に若手就業者が大きく減少している。業界の成長には不安要素であり懸念を抱いている。</p> <p>売上重視から採算重視へ経営方針を転換した。このため売上が減少するも採算は確保した。利益率が低い業務、外注で対応していた業務を内製化、受注見送りで対応している。</p>
製造	<p>競争が激化しているため、納期の厳守が特に重要になっている。また、「働き方改革」により、長時間労働が抑制されることで、超過勤務手当を生活の一部としている多くの従業員は、収入が減るため失うと大きい。（金型部品）</p> <p>小規模縫製業者はどんどん減っている。機械縫製で大量安価の業者とは競争ができない。（縫製）</p>
卸売	<p>コンビニの統廃合による自動ドアの鍵の取替作業を2月の1ヶ月の間に200件近くコンビニを回ったが仕事単価が安く、あまり儲けにはつながらなかった。（建材卸売）</p>
小売	<p>お客様の受注がぼつぼつと入っています。増税前の大型商品購入の方が増えている。（家具小売）</p> <p>従業員不足のため、店舗営業を縮小しているので売上高は減少しているが、人件費が最小限になり、利益は良くなっている。（弁当惣菜販売）</p>
サービス	<p>市場ニーズの把握が重要で、今後動物病院の中でも二極化が激しくなり、経営自体難しい状況になる。（動物病院）</p> <p>印刷用紙の値上がりにより仕入額が増える可能性あり。新元号スタートによる販促物更新などの受注も不透。（印刷・デザイン）</p>
その他	<p>働き方改革の影響が大きく、アルバイトを雇うのか、正規従業員を非正規に変更しようかと悩んでいる。残業代を求める従業員もいるため、いかに残業をコントロールするかが課題となっている。（電気関係設計）</p>

業況感と業界として当面している問題等に関する声（中企業）

製造	<p>働き方改革の一環として、有給処理・残業規則の準備等で、生産性向上がすぐにできないので、人手に頼る分、人手不足解消には時間を要する。</p>
卸売	<p>二トリや東京インテリア、イケア等のチェーン店の出店が進み、弊社が卸売販売のよりどころである小売店の倒産・廃業が相次いでおり、歯止めもかからないことから、さらに売上減少の可能性はある。</p>

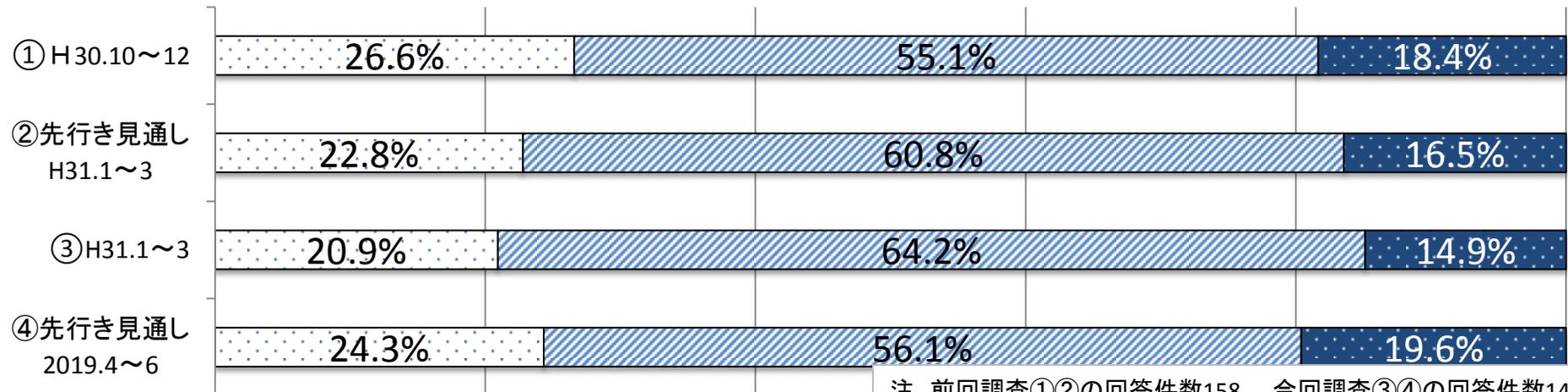
小規模の売上(回答割合)

□ 増加 ▨ 不変 ■ 減少



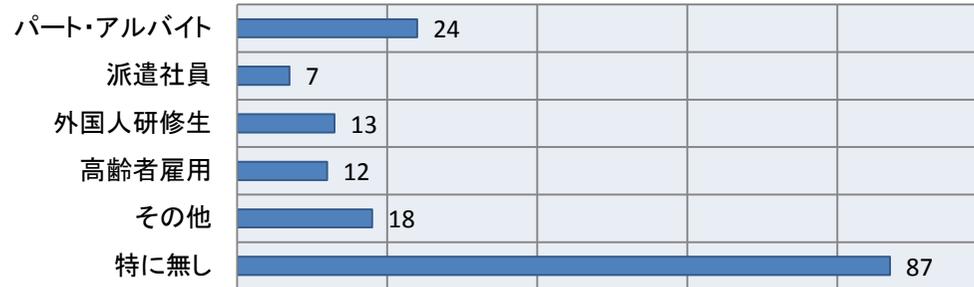
小規模の採算(回答割合)

□ 好転 ▨ 不変 ■ 悪化



注 前回調査①②の回答件数158 今回調査③④の回答件数148

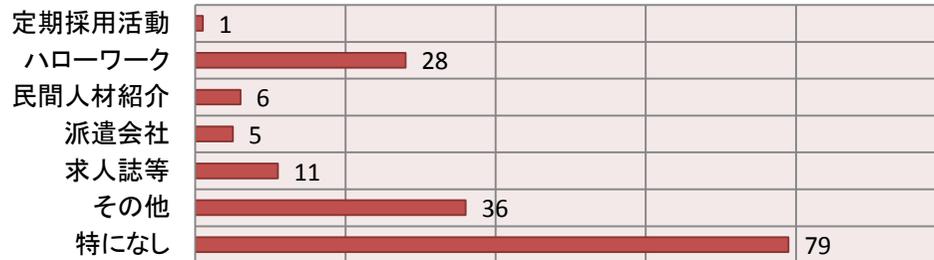
1. 現在の人材不足を補う雇用形態 ■ 件数



【その他】

- ・自社HPに求人サイトを設置、外国人実習生の受け入れ
- ・定年後の再雇用
- ・メーカーからの紹介。

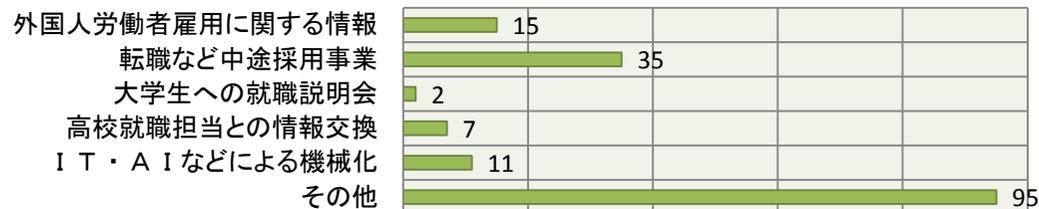
2. 現在行っている人材確保の方法 ■ 件数



【その他】

- ・フェイスブック
- ・自社内に求人看板設置
- ・社員の紹介
- ・SNS

3. 今後求める人材不足の解消方法 ■ 件数



【その他】

- ・外国人実習生の受け入れに係るセミナー
- ・専門学校就職担当との情報交換
- ・専業主婦層の有効活用
- ・労働環境の改善
- ・その他＝特になしとみられる